

QST 病院で重粒子線治療を受けた皆様へ

量子科学技術研究開発機構では、より効果的な重粒子線治療を提供するために、最新の解析技術を応用し、研究成果を臨床現場に提供できるように努めています

その一環としてこの研究は、重粒子線治療で発生する皮膚等の障害の発生確率について人工知能を用いて算出することで、患者さんの障害の発生を抑制することを目的として実施します。

この研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。（メディカルデータバンクについての説明は、本データ収集研究とは別に詳しく行います）

記

1. 研究課題名

AI を用いた炭素線治療に伴う障害の発生率の推定

2. 研究実施機関

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST 病院

東京都立大学（診療情報のみの提供で、個人を識別できる情報は提供されません。）

3. 研究代表者

東京都立大学人間健康科学研究科放射線科学域 松本真之介

4. 研究期間

許可日～2028 年 3 月 31 日

5. 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

QST 病院長 石川 仁

6. 研究（調査）の方法、手順

メディカルデータバンクにご提供いただいた下記の診療情報

年齢、性別、腫瘍サイズ、病歴、既往症、重粒子線治療の情報（治療計画 CT 画像、照射方法、照射門数、標的線量/分割/治療期間、併用療法（化学療法、手術、治療開始日）等

※メディカルデータバンクに同意した方から既にいただいている試料や診療情報をこの研究の解析に利用させていただくため、この研究を目的とした新たな採血や診療は行いません。

7. 対象となる方

QST 病院にて重粒子線治療を実施した方のうち、メディカルデータバンクを通しての試料・情報の研究利用に同意をいただいた方

8. 倫理的配慮

- ・ 研究で得られた資料・情報により個人が特定されることはありません。
- ・ 本研究（調査）により得られた個人情報 は本研究の目的以外では使用いたしません。
- ・ 量子科学技術研究開発機構及び東京都立大学の個人情報保護規程等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います
- ・ 本研究結果については、匿名化（どの患者さんの試料・情報であるかが判別できない）された解析結果のみを公表します。

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方あるいはデータの保管をしてほしくない方（又は代理人の方）は、下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。また、ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

9. お問い合わせ先

千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST 病院 メディカルデータバンク 同意・相談窓口 電話：043-206-3306